

びとこま

2018
第23号

平成29年度 編集メンバー

(ロゴ・イラスト：熊谷理菜)



- 1 今一番始めたいこと
- 2 おすすめの場所
- 3 好きな食べ物屋さんを聞きました!

ほそやさん

2 出光カルチャーパーク。図書館やサンガーデン、美術博物館もありますよ。

ふくださん

1 運動不足なのでアクティブな趣味をはじめたい!

めのちゃん

3 末広町にある「キッチンウフロワ」のデミオムライス

レオちゃん

1 運動不足と読書不足を解消するため、二宮金次郎なことを目指したい。

わこん

2 ミール。市外から来た方々もみなさん興奮。



びとこま23号ができました。今年度もたくさん取材し、イラストも描きました。記者たちはその取材力に加えて、美術作品を見る目が大きく成長したと感じます。自分の感性で見たもの、感じたものを人に文章で伝えることは難しく楽しい作業のようです。また自分と違う感覚との出会いも同じように楽しんでいるようでした。

(藤沢レオ)

「アンクル船長」のキャラクターを作ったのが柳原良平さんでした。1931年、東京に生まれ、様々な切り絵を作り、そのほとんどの作品が海や船でした。そして1954年に寿屋(現在のサントリー)に入社して、CMなどを作成しました。さらに柳原良平さんは苦小牧にもおとずれ、フェリーと樽前山がかかれた切り絵もあります。

(黒滝直人)

「柳原良平の海・船・港」展にいったよ!



柳原さんの絵はトリスにかかっているキャラクターでポスターを切り絵で作っていたり切り絵のほかにも油絵、水彩画などいろんなことをやっていたとてもすごいと思いました。ぼくが気に入ったのは、《タンカー》という絵で切り絵だと思っていたら油絵で波もとても細かくかいていてとてもすごいと思いました。(中村創介)



大の船好きであった柳原さんは、たくさんの船を描いた作品を残しています。まるで感情をもつ生き物のように生き生きと描かれた船の姿が魅力です。この機会に、苦小牧の港にもでかけてみてほしいと思います。(学芸員 福田絵梨子)

びとこま 第23号 (2018年2月発行)

[執筆] 子ども広報部「びとこま」(熊谷理菜 (sub 編集長)・黒滝直人・小山鈴乃・金智花・金遥風・中村創介 坂東菜那・深澤乃愛・山田圭悟・山田和佳・渡辺治暖・苦小牧市美術博物館・NPO 法人樽前 arty プラス)

[イラスト] 子ども広報部「びとこま」・小河けい (NPO 法人樽前 arty プラス)

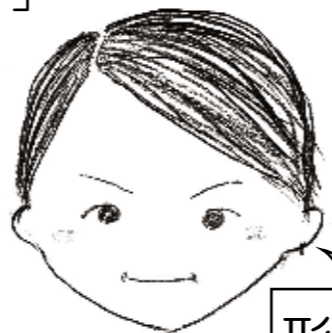
[紙面デザイン] 熊谷理菜 (子ども広報部「びとこま」)、藤沢レオ (NPO 法人樽前 arty プラス)

[編集] 苦小牧市美術博物館、NPO 法人樽前 arty プラス

[発行] 苦小牧市美術博物館 (苦小牧市末広町3丁目9-7)

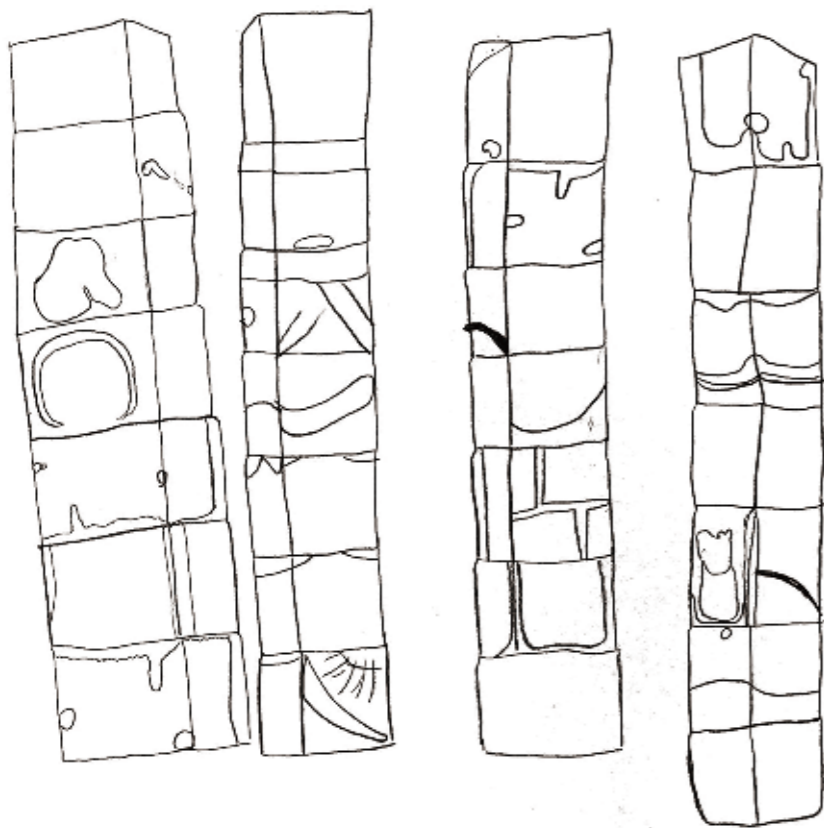
なかにわ てんじ
中庭に展示された4つの木のような大きなたて長のやきもの。吸い込まれそう
くろ いろ
な黒い色をしています。このやきものは、野幌粘土でつくられていて、レンガ
ひょうめん
のような表面をしています。しかし、くろくするために低温でやくので意外にも
よわいそうです。まえださんは、「黒くて強そうだけど、実はそうでない」という
ひょうげん
ことを表現したかったようです。そのため、冬の寒さでひびわれ、いつかこわ
かたち
れてしまいます。「形あるものはいつかはこわれてしまうことをイメージしてほ
きせつ かん さくひん
しい」と言っていました。季節を感じるような作品でした。

(黒滝直人)



とうげいか 陶芸家
まえだいくこ 前田育子さん

かたち
形あるものはいつかは、こわれてしまひんじをイメージしてほしい。



(イラスト：坂東菜那)



ひと ひと りっぽうたい いろ も
一つ一つの立方体の色、模
よう すべ
様が全てちがってそれが重
なっているから何かの層に
み
見える。
しぜん おも
自然だなあ〜と思った
て
(手をくわえすぎていない)。

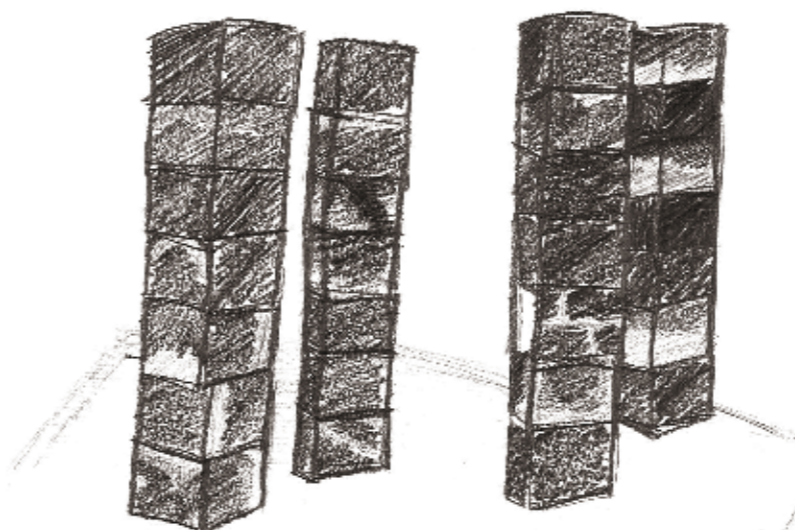
(山田和佳)

さくひん はくぎん せかい た つちはだ さくひん こく
この作品は、白銀の世界にそびえ立つ土肌のイメージとっていました。またこの作品は黒
とう 物の
陶という物でできています。この作品の一番いい所は黒陶を焼いたときにできたオレンジ色
せん あかい せん しろ せん
の線や赤色の線、そして白い線だそうです。その中で一番ぼくがいいなと思った色は白です。
りゆう しろ おんど しろ
理由は、この白は温度によって白にかわったからです。温度によって色が変わることは、ま
げいじゆつ おも
さに芸術だとぼくは思いました。そしてこの作品は、4つの黒陶が並んでいました。前田さ
さくひん つく いっかげつはん
んはこの作品を作るのに一か月半かかったそうです。そしてこの作品をつくるのに一番てま
どったのがこれにあった焼くかまどがないということでしたが、いくつかにわけてつくった
さくひん つく いっかげつはん
そうです。(渡辺治暖)

ねん土でできていてすごいなあと思いました。
かたそうだったんだけどもろいからびっくりしました。
(記事・イラスト：山田圭悟)



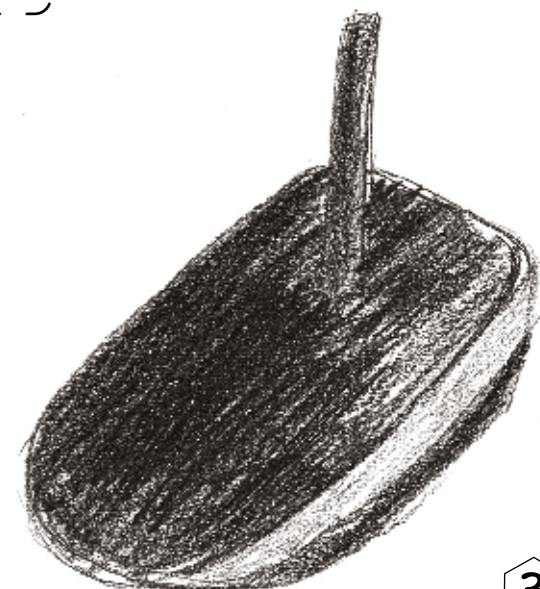
▽
(イラスト：熊谷理菜)



きょう まえだ さくひん ひゆ はし
今日は、前田さんの作品の《冬の始まり》という
さくひん しゅざい はしら よう
作品について取材しました。柱の様なまっすぐに
た ほん
立った4本のやきものです。ぶちもようやしまも
ちそう
よう、レンガのもようがきれいで、地層のようです。
一つのブロックのかたまりが10kgです。このや
きもの名前は黒陶です。黒陶は粘土を焼き締め
なまえ こくとう こくとう ねんど や し
ず、750度くらいで焼いて、みがいたものらしいで
す。前田さんは、黒陶はもろくて外に置くところ
まえだ こくとう そと お
れるから悲しかったけれど、だんだんこわれても
かな
いいやと思ってきて6ヶ月展示することにしたら
おも
しいです。
はなし き や 物の むすか
話を聞くと、なんだか焼き物って難しそうだなと
おも
思いましたが、こんなにきれいなものがつくれる
なんですばらしいなと思います。(深澤乃愛)

ほっかいどう のっぽろ ねんど ど や くろ あか
北海道の野幌の粘土を780度で焼き、黒いところや赤い
ところなどいろんな色がとてもでていて。黒い部分は底
で、もみから出た頭の部分が赤く変化する。黒色で
も前田さんの作品は漆黒のような黒色。一つの小さなパー
ツをつけて大きな作品にしている。小さな作品をつな
おお さくひん しっこく くらいろ ちい さくひん
げて大きな作品にするという発想がとてもすごいと思っ
た。(中村創介)

(イラスト：熊谷理菜)



ペンギンのすごく目がカッコよかったです。ぼくは、えらい人の部屋にいて色々なものを見れたのですごくうれしかったです。(山田圭悟)



リンクの製氷作業や応接間も見学したよ!

スケート練習用のペンギン



野外彫刻を 探しにいったよ

N I K Eには戦いの女神という意味がある。フランスのパリにあるルーヴル美術館に《サモトラケのニケ》があり、これはスポーツメーカーのナイキのマークのモデルにもなった。

見る角度により形が他の形に見えたりいろんな想像が出来てとてもおもしろい作品です。(山田和佳)

作品名：N I K E
作家名：國松明日香
場所：白鳥アリーナ前
制作年：1996年



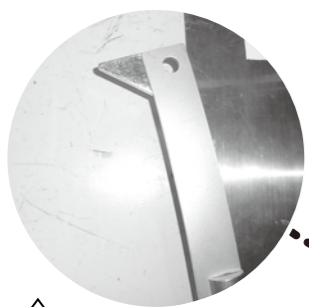
消火栓のカバーもかわいい!

白鳥アリーナの前にあるN I K Eという作品を見て最初は「なんだろう。」と思っていたけど、いろんな角度から作品を見てみると見たことがあって、考えてもわからなくて、聞いてみるとルーヴル美術館にある《サモトラケのニケ》という作品があり、N I K Eを別の読み方をするスポーツメーカーのナイキだとわかってとてもおもしろいと思いました。(中村創介)

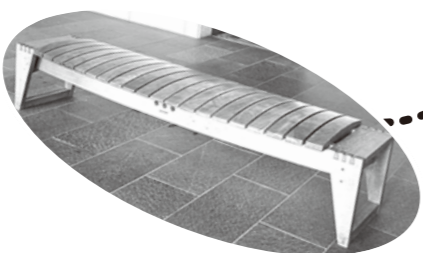
苦小牧市の白鳥アリーナの近くにある茶色のオブジェ。大きくて道路から見ることができ、不思議な形をしている。これは勝利の女神、「ニケ」の姿をかたどったものらしい。ニケが勝利の女神だからアリーナの近くに置いてあるようだ。そしてスポーツメーカーのナイキは、英語で「N I K E」。ニケから引用し、マークはニケの羽の形からきているみたいだ。(黒滝直人)



波型のベンチ

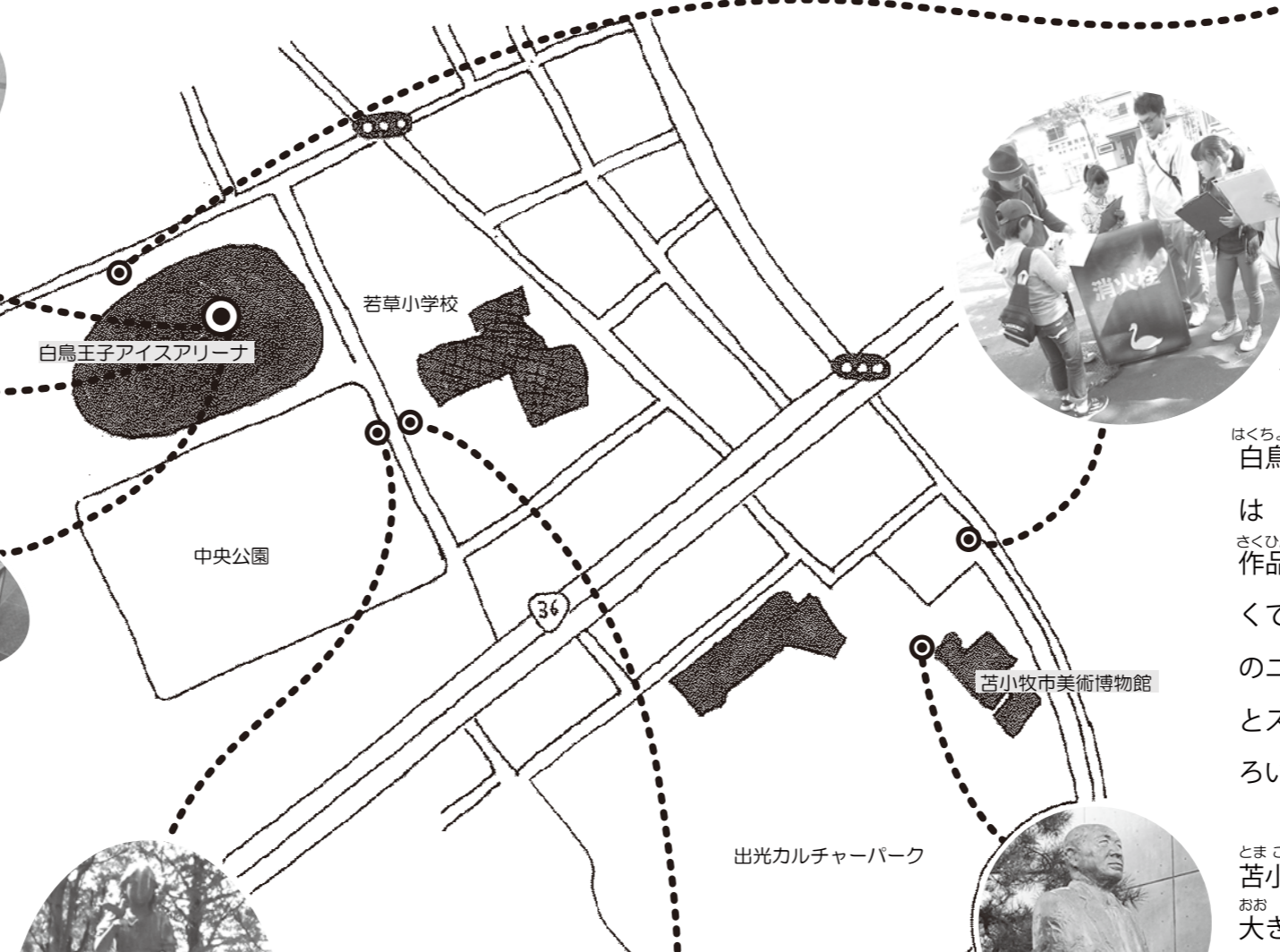


アイスアリーナのドアノブははくちょう型



高橋三太郎さんのベンチ

ここが正面だよ!



若草小学校の校門

久保田倅通《ふれあい》1983年設置



吉田芳夫《大泉源郎氏肖像》1989年設置



△

にいつてきたよ!

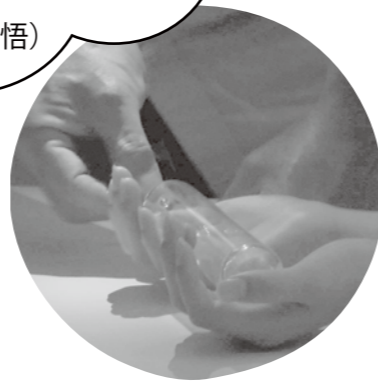


今回で10回目を迎えた樽前artyでは、
普段児童が通う樽前小学校を舞台
に美術展を開催しました。
教室や廊下では川上りえさんが
中島郁子さんと鉄の作品など。
音楽室では山内宏泰さんと樽前
の皆さんが昔と今の樽前を映像
作品にしていました。



体育館では松井紫朗さんの「moon-manju」
や外山光男さんのアニメーションで宇宙のこ
とを考えました。ほかにもガラスや陶器、木
工などの工芸作品が手に取れる「樽前堂」も
同時開催しました。(藤沢レオ)

ぼくは「手に取る宇宙」でム
ンまんじゅうの中でぼうみた
いなものをさわりました。
しかくなくかったです。
またさわりたいです。
(山田圭悟)



「手に取る宇宙」これは、作家・松井紫朗
さんのプロジェクトで松井さんが宇宙飛
行士さんにたのみ、ガラス管を宇宙に持つ
ていってもらい、ガラス管にいれた宇宙
をもぎとったものを「ムンまんじゅう」
というドームの中でもつ、宇宙を感じる
プログラムです。私はもってみて、宇宙
が少し身近に感じました。(山田和佳)

「三つの展覧会」に行ってみて

8月6日に「三つの展覧会」が行われた。松井紫朗さん、川上りえさん、山内宏泰さんの作品が展
示されていた。開会式には初めてのテープカットをした。学校の中には三人のいろいろな作品があっ
てとてもすごいと思った。松井さんのミッションは宇宙をもつというミッションです。宇宙をもつ
のは、最初で最後だと思いました。もった時はこれが宇宙なんだと思いました。川上りえさんの作
品は針金の作品でした。「とても時間がかかったんだあ」と思いました。山内さんは「タルマエツ
ムギ」という映像作品でした。「昔の樽前はこういう感じだったんだあ」と思いました。とても勉
強になったし、貴重な体験ができて「三つの展覧会」に行ってもよかったです。(中村創介)

こども広報部記者紹介

第二弾!

記者たちがお互いに取材しあいました



こん ともか
金 智花

行ってみたい国は?

→国はアメリカで、理由は「広いから。」
いろいろな所について体験してみたい。

地球が滅亡する前に食べたい物は?

→焼肉、カルビなど、お肉が大好き。

どんな時が幸せ?

→YOUTUBE を見る時。好きなYOUTUBE は
フィッシャーズで、いつも見ている。

お気に入りの服は?

→今来ているこの水色のシャツにスカートのお服。
特にスカートがお気に入り。

どんな時が幸せ?

→YOUTUBE を見るとき。

行ってみたい国は?

→台湾。日本語で話せる人が多い所が理由、料理など
をたべてみたい。



ふかざわのあ
深澤乃愛

好きな教科は?

→国語。いっぱい文を読めるから。そして、みん
なで考えるのが楽しいから。

びとこまを続ける理由は?

→たくさん感想をかくのが楽しいから。



やまだわか
山田和佳

近所の名所は?

→コメリ。明德町で一番大きいから。

もし宇宙にいったら、何をしたい?

→一年暮らしたい。楽しそうだから。

マイブームは?

→レゴブロック。こわして、また作る、組み立てるのが
一番好き。

びとこまを続ける理由は?

→取材して作るから楽しい。作るのが得意です。



やまだけいこ
山田圭悟